



『We ❤ 鏡中』

令和8年 1月 23日

☆彡入試の緊張に耐えてこそ…通過儀礼としての入試

1/22（木）に佐賀私立高校前期入試があり、多くの3年生が受検しました。

前日の水曜日に取り扱いをした際、3年生に対して通過儀礼としての入試の話をしました。

中学入試を経験している人もいるけれど、中学入試は不合格になってしまっても、義務教育なので所属できる中学校は必ず準備されている。しかし、高校入試は義務教育ではない。自分が望んで学びに行くところで、自分の希望通りには進めない可能性もある。努力しなければ、所属するところがない場合も出てくる。多くの生徒の皆さんには、今まで経験したことのない言い知れぬ不安を感じ、その緊張に耐えながら自分にできる努力をしていると思う。努力して不安を乗り越え自分の進路を切り開いてほしい。

人間が作り上げる社会では、古来、通過儀礼（人間が成長していく過程で、次なる段階の期間に新しい意味を付与する儀礼。）というものがありますが、入試も不安に耐えて努力するという経験がいい通過儀礼になっている。（バンジージャンプは成人するための通過儀礼だったことなども話しました）入試という通過儀礼を通して、人としても大きく成長してほしい。

などと話しています。

これまで、ちょっと難しいと「わからん」「できない」と言って逃げたり、甘えたりしていた生徒も、勉強だけは自分が努力しないと出来るようにはなりません。（今もまだ、「わからん」とか、「できない」と言って逃げている生徒もいるかもしれません…）入試への不安の中で、逃げずに立ち向かうことが大人へのステップです。勉強での問題は答えがありますが、社会に出れば答えが無い難しい問題ばかりです。大人になれば、答えの無い難しい問題でも逃げ出すことは出来ません。不安でも立ち向かわなくてはなりません。そして、社会に出て必要とされているのは、この不安の中でも努力し、現状を突破していくような突破力が求められていると私は思います。生徒たちには、入試という通過儀礼を通して、この突破力を身につけてほしいと思います。

☆彡詩を贈ります

自分が出来ないことを、

人のせいにすることは簡単だけど、

それでは、自分は成長しない。

自分が出来るようになったとき、

自分が偉いと思うのは大切だけど、

それでは、そこまでしか成長しない。

自分を支えてくれた人、

自分を励ましてくれた人、

自分を叱ってくれた人、

自分が努力できる環境を整えてくれた人、

様々な人に支えられ、今の自分がある。

そんなことにまで、心から感謝することができたとき、

次のステップに進むことができる。

どれだけ感謝できるかで、成長の幅は決まる。

感謝することは、誰にでも、どれだけでもできる。

自分はどれだけ感謝しているだろう。